

第3学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成28年11月30日(水)
5校時 13:45~14:30
3年1組教室

【学級目標】

なかまをしんじて
きょうかし合い、
何事にも一生けんめいとり組む
3年1組

2. 議題 「みんながもっとなかよくなるための集会をしよう」

3. 議題について

(1) 児童の実態 30名

全体的に明るく素直で、優しい子が多い。4月当初は緊張からか、決まった友達としか話さない子どもが多かった。夏休み明けには友達の輪を広げたいと思う子どもや、みんなで何かしたいという思いをもつ子どもが増えた。係活動では、一人一人の好きなことや得意なことを生かして、みんなが楽しくなるようにとそれぞれが工夫を凝らして積極的に活動している姿が見られている。

学級目標は「なかまをしんじてきょうかし合い、何事にも一生けんめいとり組む3年1組」である。子どもたちは「きょうかし」することで「なかま」の絆が深まることを今までの経験で実感している。また、「何事にも一生けんめいとり組む」には、どんなことにでも最後まであきらめずに頑張ることで達成感を得たいという思いが込められている。

学級会は、今までに4回経験している。第1回の「係活動を決めよう」では、あるとみんなが楽しくなる係を全員が思いをもって、出し合うことができた。最後までなかなか意見が言えない友達に対して、「大丈夫だよ。」や「何と迷っているの。」など、友達に寄り添いながら話し合いを進めていこうとする様子が見られた。第3回の「ハロウィンパーティーをしよう」では、いくつか意見があがった中で自分の考えが変わったり似ている意見を合わせたりしながら2つの遊びに絞ることができた。しかし、少数意見の子たちの中に、「決めるためには移動しなくてはいけない」という雰囲気があるように感じた。時間通りに2つに絞れたことは褒めたが、決め方についてはみんなの意見を大切にするために慎重に進めていくことが課題であると感じた。第4回「笑顔あふれる向小ほっと☆パラダイスにしよう」では、初めて1つに絞るという経験をした。ほとんど1つに決まりかけていたが、少数派であった子にみんなが最後まで寄り添い、全員が納得してクラスの決定をすることができた。時間内に決めることはできなかったが、最後まで少数派の友達の意見を聞き続けた。「全員が納得して決めたい。」という声も聞こえてきたことから、友達の思いを大切にしようとする姿勢が育ってきていると感じる。

(2) 議題選定の理由

今回の議題には、「まだみんなを外に出て遊んだことがないので、1度遊んだら1組のみんながもっと仲良くなれると思う。」という提案者の思いが込められている。中休みには、誰かが「みんな遊ぼう。」という声かけをして、「ぼく(私)も行きたい。」と一緒に遊びに行く子どもがいる中で、誘われても「私はいいや。」と輪の中に入らない子どもや、もしくは入れない子どもが数名見られる。遊びに対する不安な気持ちやグラウンドが遠いので教室で遊びたいという思いがあると考えられるが、遊びに誘った子どもからはもどかしさを感じている様子も見られる。そんなもどかしさやお互いの思いを知り、寄り添うきっかけになればと思いこの議題を選定した。子どもたちの一部で意見を交換するのではなく、全員が当事者意識をもって話し合うことで、お互いの意見を認め合う姿につながると考える。

今回の話し合いを通して、自分の思いを大切にしながら、友達の思いも大切にし、考えを認め合い寄り添うことができる子どもになってほしいと思っている。意見が多数派と少数派に分かれてしまったときにも、少数派に自信をもって自分の意見を伝えてほしい。もし、多数派と意見が異なっても、思いを伝えれば受け止めることができる集団であると思っている。自分の意見をみんなに伝えれば受け止めてもらえるという経験を重ねることで、子どもたちには、伝えることの大切さや分かってもらえたときの嬉しさから仲間のすばらしさを実感してほしい。

一人一人が自分の思いをみんなに伝え、全員で納得しながら決定に向かっていく子どもたち、ひいては、学級の絆を深めていきながら、学級目標の「なかまをしんじる」子どもたちになってほしい。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
楽しい学級生活をつくるための生活上の問題に関心を持ち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

5. テーマとのかかわり

(1) めざす子どもの姿

自分たちで創る 仲間と共に
～よりよい人間関係を築く力の育成を目指して～



中学年の目指す子どもの姿

- めあてにそって考え、自分の思いを伝える子（自分）
- 友達の思いを受け止め、考えの違いを認められる子（相手）
- みんながよりよい学級生活を送れるように友達と協力し合う子（集団）

(2) テーマに迫るための手立て

【めあてにそって考え、自分の思いを伝える子（自分）】

○学級全体での話し合いのめあての共通理解（事前）

提案者の思いを受けて話し合いのめあてを決定する。実践を通して自分たちは「どんな姿になりたい」のか担任と司会グループで検討した後、司会グループから全体に提案する形をとることで、学級全員が共通理解できるようにする。

○話し合いカードの活用（事前）

子どもたち一人一人が自信をもって話し合いに臨めるように、事前に話し合いカードに自分の考えと理由、自分のめあてを書かせる。自分の意見に自信がもてるように、書いてある内容の良さを伝えたり、具体的なアドバイスを担任が事前にしたりする。そのカードが話し合い中も手元にあることで、自分の意見に自信を

もち安心して話合いに臨めるようにしたい。ただし、手元にある話合いカードを読むだけにならないように、自分の思いを伝える時には聞き手を意識し、相手やみんなの方を向いて話すことを日頃から指導する。

○司会グループへの指導（事前・本時）

司会グループの中での役割については、全員が納得して役割を決められるように担任も入って見守り、必要に応じて声をかける。また、安心して話合いに臨めるように、各役割のポイントやアドバイスを事前にし、話合いの進め方のイメージをもつことができるようにする。

【友達の思いを受け止め、考えの違いを認められる子（相手）】

○聞く側の姿勢（常時）

自分の意見を話した子どもが、「聞いてもらえて嬉しかった。」と思えるような姿勢で聞くように指導する。例えば、「ふうん。」「なるほど。」などの意見に対する反応やうなずきなど、日頃から意識できるよう声をかけていく。

○話合いの可視化（本時）

話合いの流れや友達の思いが分かるように、短冊や名前カードを使う。めあてに沿った発言や遊びの工夫が出たときには、そのキーワードも掲示することで、全体で共有できるようにしていく。

○事前の出し合い（本時）

比べ合う時間を多くとれるように事前に出し合いをしておく。本時は一人一人の思いを聞き、全体で比べ合う時間を十分に確保するために、「くらべたいむ」から始める。「くらべる」段階に臨むにあたって、「出し合い」段階での自分や友達の思いを把握できるよう、ホワイトボードに短冊と名前カードを貼って掲示しておく。

○振り返り活動（本時・事後）

話合いカードに話合い活動を終えての自己評価や感想、話合いの中での友達の良い姿を書き、全体で伝え合う時間を取る。友達の良かった点や同じように感じていたことを伝え合うことで、自信につなげたい。また、話合いの時間では伝えきれなかった一人一人の思いを受け止め合えるようにするために、振り返りで出た意見や実践を終えて出た振り返りをミニカードに書いて掲示し、見合える場を作る。

○教師の終末の助言による意識化（本時）

司会グループが役割を果たしたことに対して称賛したり、話合いで見られた成果や課題を話したりすることで、学級全体への意識化を図る。お互いの意見を認め合ったり、心配や反対、少数意見を大切に扱ったりする態度を育みたい。

【みんながよりよい学級生活を送れるように友達と協力し合う子（集団）】

○生活の中での認め合い（常時）

帰りの会で友達を認め合う場を取り入れている。1日を過ごす中で、自分が友達にしてもらったことやクラスや誰かのために何かをしていた人のことを発表し合うことで、友達から認められたことを実感し、「自分もこんなことをしよう。」と思い行動する姿が見られるようになることを期待する。

○話合いのめあてを意識した集団決定（本時）

「出し合い」「くらべる」「まとめ」の段階に応じた伝え方に注意しながら、自分もよく、みんなもよい集団決定へと向かいたい。例えば、「出し合いたいむ」では「私は〇〇と思います。なぜかというところからです。」と話すが、「くらべたいむ」では話型にこだわりすぎず「△△さんの意見を聞いて…」や「□□の方がよりめあてに合っているので、いいと思います。」と話したり、「まとめたいむ」では、「クラスの決定としては…に決定することがいいと思います。」と話したりすることを指導していく。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
10月中旬	・「みんなでもっと仲良くなれるよう、外に出てみんなで遊びたい。」という議題が寄せられる。	○事前に話し合い活動の意味について確認し、どんな学級にしていきたいのか考えて意見を入れるよう促しておく。 ☆学級生活に関心を持ち、学級をよりよくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月16日(火) 休み時間	・司会グループと担任で、議題の確認をする。	○今回の議題が「みんながもっとなかよくなるための集会をしよう」というものであることを提案者に確認する。 ☆担任と一緒に、寄せられた議題の中からよりよい議題を選ぼうとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月17日(木) 休み時間	・提案者と司会グループと担任で、話し合いのめあてを決める。 ・司会グループの役割分担をする。 (進行司会1、指名司会1、黒板記録2、ノート記録1)	○議題の内容を確認し、話し合いに向けて統一したイメージをもてるようにする。 ○具体的なめあてを立てられるように助言する。 ☆役割を確認し合い、話し合いの進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解) ☆担任の支援を受け、話し合い活動に向けて準備をしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月18日(金) 帰りの会	・司会グループからクラスに、議題、提案理由、話し合いのめあて、話し合うことを伝える。	○話し合いの柱を確認することで、学級会へのイメージをもてるようにする。 ☆議題に対して、関心をもっている。 (集団活動や生活への意欲・関心・態度)
11月21日(月) 休み時間	・司会グループと担任で、話し合いの流れを確認する。 ・役割分担に従って、自分の役割を確認する。(前日に再確認)	○司会台本をもとに流れを確かめ、学級会の場面をイメージできるように助言する。 ☆担任とともに話し合いの進め方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月29日(火) 朝の会	・意見を出し合い、自分の考えを「話し合いカード」に記入する。クラスみんながどのような思いをもっているのかを理解する。	○一人一人が自分の考えをもてるようする。 ☆提案理由や話し合いのめあてを意識した自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月29日(火)	・「話し合いカード」にコメントをして返す。	○自信をもって考えを伝えることができるよう書いてある内容の良さや具体的なアドバイスを担任が事前にする。 ☆自分の意見に自信をもって言おうとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

①ねらい

- ・自分の意見をしっかりともち、友達の思いを受け止める中で、もっと仲よくなるための遊びをみんなで話し合って決める。

②活動計画

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認 「みんながもっとなかよくなるための集会をしよう」</p> <p>4. 提案理由の確認【提案者】 「1度、みんなで外に出て遊ぶことでもっと仲良くなれると思ったからです。」</p> <p>5. めあての確認 ・もっとなかよくなるための遊びにしよう。 ・自分の意見を伝え、友達の思いを受け止めよう。</p> <p>6. 決まっていることの確認 ・日時 12月8日(木) 3時間目 ・場所 グランド ・時間 20分間</p> <p>7. 話し合い ・考えを出し合う。【事前の活動】 ① 何をして遊ぶかを決める。 ② 意見をまとめる。</p> <p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. 振り返り ・めあてを振り返る。 ・今日のヒーロー・ヒロインを発表する。</p> <p>10. 先生の話</p> <p>11. 終わりの言葉</p>	<p>○安心して会が進められるように、進行内容を事前に確認しておく。</p> <p>○進行司会が安心して進められるように、司会台本を用意する。</p> <p>○話し合いのめあてを意識しながら話し合ったり、決定し たりできるようにめあてを掲示しておく。</p> <p>○子どもたちの意見を大切にしながらみんなで決定に向 かえるよう、遊びの数を設定するのではなく時間の設 定にする。また、グラウンドが校舎から離れているため、 遊ぶ時間は20分間に設定している。</p> <p>○比べ合う時間を多くとれるように、事前に出し合っ ておく。</p> <p>○司会が話し合いの進め方などでつまづいているとき には、助言する。</p> <p>○誰がどの意見をよいと思っているかを可視化して、友 達の思いに寄り添ったり、よりよい集団決定に向かっ たりできるように、名前カードを貼っていくこととす る。</p> <p>○めあてに沿った意見が出た時に、そのキーワードを板 書に示すことで、どの遊びがよりめあてに合っている かを意識できるようにする。</p> <p>☆話し合いのめあてを意識して意見を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○実践に向けた活動を意識できるような振り返りになる ように声をかける。</p> <p>○司会グループの頑張っていた点、めあてを達成するた めの意見、自分の意見をしっかりと言えた子ども、折り 合いをつけた子どもなどを中心に褒める。</p> <p>○自分たちの力で決められたことを褒め、実践への意欲 付けを行う。</p>

③本時の視点

- ・仲良くなれることを考えて発言ができていたか。
- ・一人一人が自分の意見を持ち、お互いにその思いを受け止める姿が見られたか。

④板書計画

<ホワイトボード>

誰かに寄り添えたり、よりよい集団決定に向かっていくよう考えたりできるように、「出し合いたいむ」(事前の活動)でのみんなの意見を名前カードとともに掲示しておく。

第五回 一組会ぎ

議題

みんながもっとなかなよくなるための集会をしよう

てい案理由

1度、みんなの外に出て遊ぶことでもっとなかなよくなれると思ったからです。

話し合いのめあて

- ・もっとなかなよくなるための遊びにしよう。
- ・自分の意見を伝え、友達の思いを受け止めよう。

決まっていることの確認

- ・日時 十二月八日(木) 三時間目
- ・場所 グランド
- ・時間 二十分間

出し合いたいむ

ふえおに

□□□□□□□□□□

はないちもんめ

□□□□□□□□□□

だるまさんが転んだ

□□□□□□□□□□

ドロケイ

□□□□□□□□□□

<黒板>

話し合い

くらべたいむ

↓

まとめたいむ

だるまさんが転んだ

□□□□□□□□□□

手をつなぐ

ドロケイ

□□□□□□□□□□

きょう力

はないちもんめ

□□□□□□□□□□

みんなで手つなぎ

ふえおに

□□□□□□□□□□

タッチ

ふりかえりたいむ

先生の話

終わりの言葉

意見の中で、もっと仲良くなるための工夫が出たら、キーワードとして掲示していく。

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
12月1日 (木) 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が活躍できる場を考えた役割を決め、分担する。 	<p>○必要な役割を考えて、全員で分担できるようにする。</p> <p>☆学級の一員として自己の役割を自覚し、実践している。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
12月2日 (金) ～ 12月7日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで決めた役割ごとに準備をする。 	<p>○それぞれがめあてを意識しながら、準備ができるように助言する。</p> <p>○協力して準備ができているか確認する。</p> <p>☆自分の役割を進んで行っている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
12月8日 (木) 学級活動	<ul style="list-style-type: none"> 話合いで決まった活動をする。 	<p>○活動を始める前にめあてを確認し、意識して活動できるようにする。</p> <p>☆めあてを意識し、友達と協力して活動している。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
12月9日 (金) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 活動の振り返りをする。 ミニカードに話合いと実践の振り返りを書く。 	<p>○クラスみんなの協力によって、楽しく有意義な活動になったことを認め、次回の活動への意欲を高める。</p> <p>☆活動を振り返り、自分の思いや考えを発表している。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>

議 題					
提案理由					
話合いの めあて	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 				
決まっ ていること	・日時： 月 日 () 時間目 ・場所： ・時間： 分間				
司会グループ	進行司会	指名司会	黒板記録		ノート記録

話合うこと	自分の考え・思い	理由

決まったこと	
今日のヒーロー・ヒロインさん 〔 〕 さん	理由

ふりかえり	・なかよくなるための意見を言うことができましたか。	□ ・ □ ・ □
	・自分の意見をしっかり言えましたか。	□ ・ □ ・ □
	・友だちの思いを受け止めることができましたか。	□ ・ □ ・ □
	・なっとくして決定することができましたか。	□ ・ □ ・ □
	<感想>	

【司会台本】

第 回 3 の 1 会議

月 日 () 時間目

はじめの言葉	司会	これから、第 回 3 の 1 会議を始めます。
司会グループの しょうかい		今日の進行司会の【 】です。指名司会の【 】です。 黒板記録の【 】です。同じく黒板記録の【 】です。 ノート記録の【 】です。
議題と 提案理由の かくにん	司会 提案者	今日の議題は『 』です。 提案理由を【 】さん、お願いします。 今日の話し合いでは、 を決めます。
話し合いのめあての かくにん	司会	今日の話し合いのめあては、 と です。
決まっていること のかくにん	司会	決まっていることのかくにんです。 (決まっていることカードを読む。)
話し 合い	出し合う	それでは、話し合いを始めます。みんなの意見をどんどん出し合いましょう。
	くらべる	司会 それでは、話し合いを始めます。今の段階の自分の考えと理由を言ってください。 理由は、めあてを考えながら言いましょう。 「今の意見に対して、どうですか。」 「〇〇についての意見はありますか。」 「〇〇について、もう少し意見をください。」 「心配の意見について、意見をお願いします。」
	まとめる	司会 それでは、意見をまとめていきます。 「クラスの決定としてよい意見はありますか。」 「〇〇という意見がみんなの意見をうまく生かしているように思いますが、みんなはどうですか。」 みんながいいようなので、今回は でいいですか。
決まったこと のかくにん	司会 ノート 記録	今日の話し合いで決まったことをノート記録の【 】さん、お願いします。
ふり返りと 今日のヒーロー・ ヒロインさん	司会	今日の話し合いのふり返りとヒーロー・ヒロインさんをノートに書いてください。 それでは発表してください。
先生からの話	司会 先生	今日の話し合いについて、橋口先生お願いします。
終わりの言葉	司会	これで、第 回 3 の 1 会議を終わります。